

ほけんだより

= 7月号 =

令和7年7月1日
板橋区立志村小学校
校長 佐久間 康弘
保健室 小林 史弥



注意!! 夏の感染症!!!

伝染性軟属腫(水いぼ)

症状 ・水っぼいぼができる
予防 ・肌を保湿し、コンディションを整える
・感染者との肌の接触を避ける



手足口病

症状 ・手足や口に水ぶくれ状の発疹ができる
予防 ・手洗い
・他の人とタオルを共有しない



アタマジラミ

症状 ・激しい頭のかゆみ
予防 ・他の人とタオルや帽子、くしなどを共有しない



咽頭結膜熱(プール熱)

症状 ・38~39℃の発熱
・のどの痛み、結膜炎
予防 ・手洗い
・他の人とタオルを共有しない



流行性角結膜炎(はやり目)

症状 ・目の充血、かゆみ
・目がゴロゴロする
・涙が多くなる
予防 ・他の人とタオルを共有しない



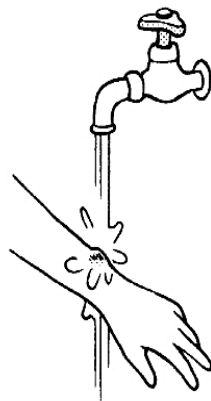
伝染性膿痂疹(とびひ)

症状 ・手、足、口、体などに痛みやかゆみを伴う水疱ができる
・黄色いしん出液が出たりする
予防 ・手洗い ・爪を短く切る



虫に刺されたら

虫に刺されたところをかいてしまうと、傷ができます。そこに細菌が入ると、「とびひ」や「ほうか織炎」になることがあります。「とびひ」は水ぶくれができて強い痒みや痛みの症状が現れます。感染力が強いので、ほかの子にうつすこともあります。「ほうか織炎」は、皮膚の深い部分が炎症を起こし、体全体が熱くなったり、痛みを伴ったりします(このような場合には必ず病院へ行きましょう)。「とびひ」や「ほうか織炎」を防ぐためには、虫に刺されたあとは水で洗い流して、皮膚を清潔に保つことが大切です。



夏バテをまねく生活習慣

冷たい食べ物、飲み物のとり過ぎ



冷ぼうの効いた部屋に長時間いる



冷たい物をとり過ぎたり、冷えた部屋に長時間いたりすると体調をくずしやすくなります。

～保護者の方へ～

○定期健康診断が終了しました。1学期最終日に「定期健康診断の結果」を配布します。お子さんの成長をご確認ください。

○上記で紹介しました夏の感染症やその他の感染症が疑われる場合は速やかに病院を受診し、お医者さんの指示に従ってください。感染症と診断された場合は学校にお知らせくださいますようお願いいたします。